

2025～2034年度の連系線の運用容量 (年間・長期) (案)

2025年2月12日
電力広域的運営推進機関

1. 2025年度の年間運用容量
2. 2026年度の年間運用容量
3. 特殊日の運用容量
4. 2027～2034年度の長期運用容量
5. 全国系統の運用容量（2025年度8月平日昼間帯）

1. (1) 2025年度の年間運用容量 (平日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

3

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	70(③)	70(③) 【40(③)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【55(③)】	70(③) 【55(③)】	70(③) 【55(③)】	70(③)	70(③)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【80(①)】	236(①) 【80(①)】	236(①) 【21(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	476(②) 【481(②)】	456(②)	565(①)	571(②)	576(②)	521(②) 【490(①)】	556(②) 【460(①)】	511(②) 【450(①)】	511(②)	606(②)	616(②) 【616(②)】	【355(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【90(①)】	【120(①)】	【139(①)】	【174(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【90(①)】	【150(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)	250(④) 【0(①)】	250(④)	250(④)	250(④)	250(④)
	関西向	59(④)	48(④)	70(④)	102(④)	101(④)	前半105(④) 後半90(④)	64(④)	前半71(④) 【0(①)】 後半73(④) 【0(①)】	87(④)	100(④)	87(④)	前半67(④) 後半60(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	130(④) 【130(④)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④)	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	中部・関西向	181(④) 【164(④)】	161(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	186(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半189(④) 後半180(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	130(④) 【0(①)】	130(④)	150(④)	150(④)	150(④)	150(④)	130(④)	130(④)	160(④)	160(④)	160(④)	160(④)
	関西向	181(④) 【0(①)】	161(④)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	186(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半189(④) 後半180(④) 前半455(③) 【455(③)】 後半445(③) 【445(③)】
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	460(③)	460(③)	465(③) 【465(③)】	485(③)	485(③)	前半475(③) 後半460(③) 【410(③)】	435(③) 【410(③)】	460(③) 【360(③)】	475(③)	475(③)	455(③)	326(①) 140① 【0(①)】
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	0(②) 【0②】
関西四国間連系設備	関西向	【14(①)】	【14(①)】	【14(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【70(①)】	【0(①)】	140① 【0(①)】
	四国向	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	0(②) 【0②】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【83(④)】	120(①) 【82(④)】	120(①) 【84(④)】	120(①) 【52(④)】	120(①) 【63(④)】	前半120(①) 【120(①)】 後半120以上 【120(①)】	120(①) 【37(④)】	前半120(①) 【45(④)】 後半120(①) 【47(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【48(④)】	前半120(①) 【35(④)】 後半120(①) 【29(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	203(④) 【157(④)】	201(④) 【154(④)】	211(④)	237(④)	222(④)	前234(④) 後220(④)	208(④)	前211(④) 後224(④)	241(④)	252(④)	245(④)	前222(④) 後210(④)
	九州向	18(④) 【8(④)】	15(④) 【4(④)】	13(④)	27(④)	27(④)	前23(④) 後21(④)	15(④)	前16(④) 後16(④)	19(④)	21(④)	22(④)	前20(④) 後17(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (2) 2025年度の年間運用容量 (平日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

4

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	70(③)	70(③) 【40(③)】	90(①) 【40(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	70(③)	70(③) 【55(③)】	70(③)	70(③)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【179(①)】	236(①) 【179(①)】	236(①) 【160(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	406(②) 【411(②)】	376(②)	511(②)	521(②)	511(②)	471(②) 【456(②)】	486(②) 【416(②)】	476(②) 【475(①)】	481(②)	540(①)	535(①) 【535(①)】	【345(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【90(①)】	【120(①)】	【139(①)】	【174(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【150(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	210(①) 【90(①)】	【150(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	前半200(④) 【0(①)】 後半220(④) 【0(①)】	220(④)	200(④)	240(④)	前半220(④) 後半200(④)
	関西向	82(④)	74(④)	79(④)	103(④)	103(④)	前半104(④) 後半97(④)	91(④)	前半93(④) 【0(①)】 後半101(④) 【0(①)】	108(④)	128(④)	125(④)	前半108(④) 後半99(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	190(②) 【198(④)】	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	190(②) 【0(①)】	190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半190(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	460(③)	460(③)	465(③)	485(③)	485(③)	前半475(③) 後半460(③) 【410(③)】	435(③)	460(③) 【360(③)】	475(③)	475(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	【14(①)】	【14(①)】	【14(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【70(①)】	【0(①)】	140① 【0(①)】
	四国向	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	0(②) 【0②】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【95(④)】	120(①) 【93(④)】	120(①) 【94(④)】	120(①) 【94(④)】	120(①) 【100(④)】	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【100(④)】	前半120(①) 【113(④)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【113(④)】 後半120(①) 【96(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	180(④) 【173(④)】	174(④) 【166(④)】	180(④)	197(④)	182(④)	前197(④) 後185(④)	178(④)	前182(④) 後191(④)	200(④)	224(④)	221(④)	前201(④) 後190(④)
	九州向	30(④) 【21(④)】	27(④) 【18(④)】	29(④)	38(④)	39(④)	前38(④) 後36(④)	37(④)	前38(④) 後40(④)	43(④)	46(④)	46(④)	前41(④) 後38(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (3) 2025年度の年間運用容量 (休日：昼間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

5

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	70(③)	70(③) 【30(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	70(③)	70(③)	70(③)	70(③)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【80(①)】	236(①) 【21(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	476(②)	461(②)	565(①)	581(②)	576(②)	521(②) 【506(②)】	560(①) 【460(①)】	511(②) 【450(①)】	511(②)	606(②)	616(②) 【425(①)】	【355(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【139(①)】	【120(③)】	【180(①)】	【150(①)】	【105(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【135(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【105(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	33(④)	32(④)	40(④)	67(④)	80(④)	前半81(④) 後半51(④)	39(④)	前半44(④) 【0(①)】 後半46(④) 【0(①)】	58(④)	70(④)	53(④)	前半55(④) 後半38(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	136(④) 【119(④)】	134(④)	150(④)	183(④)	190(②)	前半190(②) 後半164(④)	144(④)	前半159(④) 後半156(④)	170(④)	182(④)	165(④)	前半167(④) 後半141(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	136(④) 【0(①)】	134(④)	150(④)	183(④)	190(②)	前半190(②) 後半164(④) 前半475(③) 後半460(③) 【410(③)】	144(④)	前半159(④) 後半156(④)	170(④)	182(④)	165(④)	前半167(④) 後半141(④) 前半455(③) 【455(③)】 後半445(③)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	460(③)	460(③)	465(③)	485(③)	485(③)	278(①)	295(①)	326(①) 【360(③)】	475(③)	475(③)	455(③)	【455(③)】 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	【14(①)】	【14(①)】	【14(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【70(①)】	【0(①)】	140① 【0(①)】
	四国向	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	0(②) 【0②】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【81(④)】	120(①) 【79(④)】	120(①) 【82(④)】	120(①) 【34(④)】	120(①) 【49(④)】	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【14(④)】	前半120(①) 【24(④)】 後半120(①) 【28(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【26(④)】	120(①) 【18】 後半120(①) 【11(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	170(④) 【122(④)】	166(④) 【121(④)】	174(④)	201(④)	209(④)	前206(④) 後181(④)	175(④)	前179(④) 後186(④)	196(④)	209(④)	198(④)	前188(④) 後177(④)
	九州向	11(④) 【2(④)】	7(④) 【0(④)】	6(④)	16(④)	21(④)	前17(④) 後9(④)	7(④)	前10(④) 後11(④)	11(④)	13(④)	11(④)	前11(④) 後10(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

1. (4) 2025年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

6

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①)	90(①)	90(①)	90(①)
	東北向	70(③)	70(③) 【40(③)】	90(①) 【40(③)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	70(③)	70(③)	70(③)	70(③)
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【179(①)】	236(①) 【160(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①)
	東京向	406(②)	381(②)	521(②)	531(②)	511(②)	471(②) 【456(②)】	491(②) 【485(①)】	476(②) 【475(①)】	481(②)	540(①)	535(①) 【400(①)】	【345(①)】
東京中部間連系設備	東京向	【135(①)】	【120(③)】	【120(③)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【139(①)】	【120(③)】	【180(①)】	【150(①)】	【105(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【135(①)】	210(①) 【180(①)】	210(①)	【135(①)】	【150(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【105(①)】
中部関西間連系線 ^{注1)}	中部向	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)	200(④) 【0(①)】	200(④)	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	58(④)	51(④)	55(④)	75(④)	83(④)	前半86(④) 後半73(④)	71(④)	前半81(④) 【0(①)】 後半91(④) 【0(①)】	100(④)	112(④)	109(④)	前半91(④) 後半76(④)
北陸フェンス ^{注1)}	北陸向	70(④) 【70(④)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	中部・関西向	169(④) 【163(④)】	161(④)	167(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半188(④)	184(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半189(④)
中部北陸間連系設備	北陸向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
	中部向	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】	30(①) 【0(①)】	30(①)	30(①)	30(①)	30(①) 【0(①)】
北陸関西間連系線 ^{注1)}	北陸向	70(④) 【0(①)】	70(④)	80(④)	80(④)	80(④)	80(④)	70(④)	70(④)	90(④)	90(④)	90(④)	90(④)
	関西向	169(④) 【0(①)】	161(④)	167(④)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半188(④)	184(④)	前半190(②) 後半190(②)	190(②)	190(②)	190(②)	前半190(②) 後半189(④)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	460(③)	460(③)	465(③)	485(③)	485(③)	前半190(②) 後半188(④) 前半475(③) 後半460(③) 【410(③)】	435(③)	460(③) 【360(③)】	475(③)	475(③)	455(③)	前半455(③) 後半445(③)
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	【14(①)】	【14(①)】	【14(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【0(①)】	【0(①)】	【70(①)】	【70(①)】	【0(①)】	140① 【0(①)】
	四国向	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	【0②】	0(②) 【0②】
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	145(①) 【145(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【93(④)】	120(①) 【91(④)】	120(①) 【92(④)】	120(①) 【68(④)】	120(①) 【80(④)】	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【77(④)】	前半120(①) 【96(④)】 後半120(①) 【106(④)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 【90(④)】 後半120(①) 【78(④)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	161(④) 【145(④)】	151(④) 【139(④)】	159(④)	175(④)	179(④)	前176(④) 後161(④)	156(④)	前161(④) 後172(④)	184(④)	198(④)	196(④)	前185(④) 後171(④)
	九州向	25(④) 【16(④)】	21(④) 【13(④)】	23(④)	30(④)	33(④)	前32(④) 後28(④)	30(④)	前33(④) 後37(④)	40(④)	43(④)	41(④)	前36(④) 後31(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (1) 2026年度の年間運用容量（平日：昼間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

7

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
	東北向	70(③)	70(③) 【30(①)】	70(③) 【25(①)】	70(③) 【25(①)】	70(③) 【30(③)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①) 【21(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【21(①)】	【21(①)】	【21(①)】	236(①) 【21(①)】	236(①)	236(①)	236 【80】
	東京向	【351(②)】	【245(①)】	【245(①)】	525(①) 【525(①)】	525(①)	525(①) 【475(①)】	【315(①)】	【476(②)】	555(①) 【555(①)】	606(②)	511(②) 【511(②)】	【481(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【90(①)】	【150(①)】	【120(③)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【84(①)】	【86(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【139(①)】
	中部向	【90(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【90(①)】	【90(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【142(①)】
中部フェンス	北陸・関西向	【215②】	【215②】	【205②】	【289②】	【289②】	前半【259②】 後半【205②】	【215②】	【205②】	257(②) 【167②】	257(②)	257(②)	前半【247②】 後半【265②】
	中部向	375(①) 【295②】	【254②】	【212②】	【276②】	【286②】	前半【216②】 後半【202②】	【254②】	【265②】	390(③) 【290②】	390(③)	390(③)	前半390(③) 【380②】 後半375(①) 【365②】
北陸フェンス	北陸向	324(①)	324(①)	324(①)	308(①)	308(①)	前半308(①) 後半324(①)	324(①)	324(①)	275(②) 【195②】	275(②)	275(②)	前半275(②) 後半324(①)
	中部・関西向	460(②) 【340②】	【340②】	【330②】	【410②】	【410②】	前半【310②】 後半【310②】	【340②】	【310②】	449(②) 【329②】	449(②)	449(②)	前半449(②) 【439②】 後半460(②) 【450②】
関西フェンス	関西向	【215②】	【215②】	【205②】	【289②】	【289②】	前半【259②】 後半【205②】	【215②】	【205②】	257(②) 【167②】	257(②)	257(②)	前半【247②】 後半【265②】
	中部・北陸向	375(①) 【295②】	【254②】	【212②】	【276②】	【286②】	前半【216②】 後半【202②】	【254②】	【265②】	390(③) 【290②】	390(③)	390(③)	前半390(③) 【380②】 後半375(①) 【365②】
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③) 【410(③)】	440(③) 【440(③)】	445(③) 【395(③)】	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半445(③) 【365(③)】	465(③) 【365(③)】	465(③) 【365(③)】	475(③) 【475(③)】	475(③)	475(③)	前半475(③) 【475(③)】 後半465(③) 【465(③)】
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	10(②)	10(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①)	145(①)	145(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	203(④) 【157(④)】	201(④) 【154(④)】	211(④)	237(④)	222(④)	前234(④) 後220(④)	208(④)	前211(④) 後224(④)	241(④)	252(④)	245(④)	前222(④) 後210(④)
	九州向	30(④) 【8(④)】	29(④) 【4(④)】	33(④)	60(④)	62(④)	前44(④) 後42(④)	31(④)	前32(④) 後33(④)	39(④)	43(④)	40(④)	前32(④) 後30(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (2) 2026年度の年間運用容量（平日：夜間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

8

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
	東北向	70(③)	70(③) 【40(③)】	70(③) 【25(①)】	70(③) 【25(①)】	70(③) 【50(③)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①) 【179(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【160(①)】	【160(①)】	【160(①)】	236(①) 【160(①)】	236(①)	236(①)	236 【179】
	東京向	【241(②)】	【275(①)】	【275(①)】	555(①) 【511(②)】	555(①)	550(①) 【426(②)】	【285(①)】	【441(②)】	535(①) 【535(①)】	540(①)	476(②) 【476(②)】	【446(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【90(①)】	【150(①)】	【120(③)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【84(①)】	【86(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【90(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【90(①)】	【90(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部フェンス	北陸・関西向	232(②) 【182(②)】	【172(②)】	【172(②)】	【213(②)】	【213(②)】	前半【183(②)】 後半【162(②)】	【172(②)】	【162(②)】	239(②) 【159(②)】	239(②)	239(②)	前半【229(②)】 後半【222(②)】
	中部向	340(②) 【270(②)】	【260(②)】	【252(②)】	【289(②)】	【289(②)】	前半【219(②)】 後半【222(②)】	【260(②)】	【230(②)】	390(③) 【290(②)】	390(③)	390(③)	前半390(③) 【380(②)】 後半340(②) 【330(②)】
北陸フェンス	北陸向	250(①)	250(①)	250(①)	250(①)	250(①)	前半250(①) 後半250(①)	250(①)	250(①)	284(①) 【234(②)】	284(①)	284(①)	前半284(①) 後半250(①)
	中部・関西向	449(②) 【349(②)】	【329(②)】	【329(②)】	【382(②)】	【382(②)】	前半【282(②)】 後半【299(②)】	【329(②)】	【299(②)】	449(②) 【329(②)】	449(②)	449(②)	前半449(②) 【439(②)】 後半449(②) 【439(②)】
関西フェンス	関西向	232(②) 【182(②)】	【172(②)】	【172(②)】	【213(②)】	【213(②)】	前半【183(②)】 後半【162(②)】	【172(②)】	【162(②)】	239(②) 【159(②)】	239(②)	239(②)	前半【229(②)】 後半【222(②)】
	中部・北陸向	340(②) 【270(②)】	【260(②)】	【252(②)】	【289(②)】	【289(②)】	前半【219(②)】 後半【222(②)】	【260(②)】	【230(②)】	390(③) 【290(②)】	390(③)	390(③)	前半390(③) 【380(②)】 後半340(②) 【330(②)】
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③) 【410(③)】	440(③) 【440(③)】	445(③) 【445(③)】	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半465(③) 【445(③)】	465(③) 【365(③)】	465(③) 【365(③)】	475(③) 【475(③)】	475(③)	475(③)	前半475(③) 後半465(③) 【465(③)】
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	10(②)	10(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①)	145(①)	145(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 【120(①)】 後半120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	180(④) 【173(④)】	174(④) 【166(④)】	180(④)	197(④)	182(④)	前197(④) 後185(④)	178(④)	前182(④) 後191(④)	200(④)	224(④)	221(④)	前201(④) 後190(④)
	九州向	53(④) 【21(④)】	48(④) 【18(④)】	55(④)	74(④)	78(④)	前67(④) 後65(④)	61(④)	前68(④) 後72(④)	86(④)	93(④)	89(④)	前65(④) 後62(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (3) 2026年度の年間運用容量（休日：昼間帯）

具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

9

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【30(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
	東北向	70(③)	70(③) 【40(③)】	70(③) 【30(①)】	70(③) 【40(③)】	70(③) 【50(③)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①) 【80(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【21(①)】	【21(①)】	【21(①)】	236(①) 【21(①)】	236(①)	236(①)	236 【21】
	東京向	【351(②)】	【245(①)】	【245(①)】	525(①) 【525(①)】	525(①)	525(①) 【520(①)】	【371(②)】	【476(②)】	555(①) 【345(①)】	606(②)	606(②) 【511(②)】	【481(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【131(①)】	【86(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【135(①)】	【90(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部フェンス	北陸・関西向	【205②】	【205②】	【205②】	【227②】	【227②】	前半【197②】 後半【195②】	【205②】	【195②】	267(②) 【177②】	267(②)	267(②)	前半【257②】 後半【255②】
	中部向	334(②) 【254②】	【254②】	【232②】	【276②】	【286②】	前半【216②】 後半【202②】	【254②】	【224②】	346(②) 【246②】	346(②)	346(②)	前半346(②) 【336②】 後半334(②)
北陸フェンス	北陸向	260(①)	260(①)	260(①)	272(①)	272(①)	前半272(①) 後半260(①)	260(①)	260(①)	272(①) 【192②】	272(①)	272(①)	前半272(①) 後半260(①)
	中部・関西向	【318②】	【318②】	【318②】	【389②】	【389②】	前半【289②】 後半【288②】	【318②】	【288②】	439(②) 【319②】	439(②)	439(②)	前半439(②) 【429②】 後半【428②】
関西フェンス	関西向	【215②】	【215②】	【215②】	【237②】	【237②】	前半【207②】 後半【205②】	【215②】	【205②】	267(②) 【177②】	267(②)	267(②)	前半【257②】 後半【265②】
	中部・北陸向	349(②) 【269②】	【254②】	【232②】	【276②】	【286②】	前半【216②】 後半【202②】	【254②】	【239②】	346(②) 【246②】	346(②)	346(②)	前半346(②) 【336②】 後半349(②)
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③) 【440(③)】	445(③) 【445(③)】	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半465(③) 【365(③)】	465(③) 【365(③)】	465(③) 【365(③)】	475(③) 【475(③)】	475(③)	475(③)	前半475(③) 後半465(③) 【465(③)】
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	10(②)	10(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①)	145(①)	145(①)	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120(①) 【120(①)】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	170(④) 【122(④)】	166(④) 【121(④)】	174(④)	201(④)	209(④)	前206(④) 後181(④)	175(④)	前179(④) 後186(④)	196(④)	208(④)	198(④)	前188(④) 後177(④)
	九州向	19(④) 【2(④)】	16(④) 【0(④)】	18(④)	42(④)	39(④)	前31(④) 後23(④)	16(④)	前19(④) 後20(④)	25(④)	27(④)	21(④)	前19(④) 後18(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

2. (4) 2026年度の年間運用容量 (休日：夜間帯)

10
具体的な日毎の運用容量は系統情報サービス参照
単位：万kW

連系線	潮流方向	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道本州間連系設備	北海道向	90(①)	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	90(①) 【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
	東北向	70(③)	70(③) 【40(③)】	70(③) 【40(③)】	70(③) 【50(③)】	70(③) 【50(③)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】	【60(①)】
東北東京間連系線	東北向	236(①)	236(①) 【179(①)】	236(①)	236(①)	236(①)	236(①) 【160(①)】	【160(①)】	【160(①)】	236(①) 【160(①)】	236(①)	236(①)	236 【179】
	東京向	【241(②)】	【275(①)】	【275(①)】	555(①) 【511(②)】	555(①)	550(①) 【461(②)】	【336(②)】	【441(②)】	535(①) 【315(①)】	540(①)	535(①) 【476(②)】	【446(②)】
東京中部間連系設備	東京向	【120(③)】	【120(③)】	【120(③)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【131(①)】	【86(①)】	【150(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
	中部向	【135(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】	【135(①)】	【90(①)】	【142(①)】	【180(①)】	【180(①)】	【150(①)】
中部フェンス	北陸・関西向	211(②) 【161(②)】	【151(②)】	【151(②)】	【223(②)】	【223(②)】	前半【193(②)】 後半【141(②)】	【151(②)】	【141(②)】	231(②) 【151(②)】	231(②)	231(②)	前半【221(②)】 後半【201(②)】
	中部向	349(②) 【279(②)】	【269(②)】	【252(②)】	【289(②)】	【289(②)】	前半【219(②)】 後半【222(②)】	【269(②)】	【239(②)】	390(③) 【290(②)】	390(③)	390(③)	前半390(③) 【380(②)】 後半349(②) 【339(②)】
北陸フェンス	北陸向	238(①)	238(①)	238(①)	250(①)	250(①)	前半250(①) 後半238(①)	238(①)	238(①)	317(①) 【267(②)】	317(①)	317(①)	前半317(①) 後半238(①)
	中部・関西向	【328(②)】	【308(②)】	【308(②)】	【389(②)】	【389(②)】	前半【289(②)】 後半【278(②)】	【308(②)】	【278(②)】	469(②) 【349(②)】	469(②)	469(②)	前半469(②) 【459(②)】 後半【418(②)】
関西フェンス	関西向	211(②) 【161(②)】	【151(②)】	【151(②)】	【223(②)】	【223(②)】	前半【193(②)】 後半【141(②)】	【151(②)】	【141(②)】	231(②) 【151(②)】	231(②)	231(②)	前半【221(②)】 後半【201(②)】
	中部・北陸向	349(②) 【279(②)】	【269(②)】	【252(②)】	【289(②)】	【289(②)】	前半【219(②)】 後半【222(②)】	【269(②)】	【239(②)】	390(③) 【290(②)】	390(③)	390(③)	前半390(③) 【380(②)】 後半349(②) 【339(②)】
関西中国間連系線 ^{注1)}	関西向	440(③)	440(③) 【440(③)】	445(③) 【445(③)】	465(③)	465(③)	前半465(③) 後半465(③)	465(③) 【365(③)】	465(③) 【365(③)】	475(③) 【475(③)】	475(③)	475(③)	前半475(③) 後半465(③) 【465(③)】
	中国向	326(①)	295(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	295(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)	326(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	10(②)	10(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	145(①)	145(①)	145(①)	120以上 【120以上】	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
	四国向	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①) 【120(①)】	120(①)	120(①)	前半120(①) 後半120(①)	120以上 【120以上】	前半120(①) 後半120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①) 【120(①)】
中国九州間連系線 ^{注1)}	中国向	161(④) 【145(④)】	151(④) 【139(④)】	159(④)	175(④)	179(④)	前176(④) 後161(④)	156(④)	前160(④) 後172(④)	184(④)	198(④)	196(④)	前185(④) 後170(④)
	九州向	40(④) 【16(④)】	33(④) 【13(④)】	36(④)	57(④)	55(④)	前51(④) 後47(④)	48(④)	前51(④) 後55(④)	74(④)	83(④)	74(④)	前54(④) 後49(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。

注1) 9月、11月、3月における「前半」：15日まで、「後半」：16日以降

3.特殊日の運用容量

特殊日として扱う日については、系統情報サービス「2023年度・2024年度連系統運用にかかわる平日・休日カレンダーについて」参照
単位：万kW

11

2025年度

連系統	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系統	東京向	昼間帯	400	—	—
中部関西間連系統*1	中部向	昼間帯	200(④)	200(④)	200(④)
		夜間帯	200(④)	200(④)	200(④)
	関西向	昼間帯	25(④)	70(④)	44(④)
		夜間帯	48(④)	83(④)	105(④)
北陸フェンス*1	中部・関西向	昼間帯	125(④)	185(④)	150(④)
		夜間帯	156(④)	190(②)	190(②)
中国四国間連系統*1	中国向	昼間帯	120(①) 【120(①)】	145(①) 【145(①)】	120(①) 【120(①)】
		夜間帯	120(①) 【120(①)】	145(①) 【145(①)】	120(①) 【120(①)】
	四国向	昼間帯	120(①) 【79(④)】	120(①) 【39(④)】	120(①) 【115(④)】
		夜間帯	120(①) 【91(④)】	120(①) 【82(④)】	120(①) 【120(①)】
中国九州間連系統*1	中国向	昼間帯	160(④)	199(④)	174(④)
		夜間帯	146(④)	169(④)	183(④)
	九州向	昼間帯	8(④)	21(④)	6(④)
		夜間帯	21(④)	33(④)	44(④)

2026年度

連系統	潮流方向	断面	GW	盆	年末年始
東北東京間連系統	東京向	昼間帯	403	—	—
中国四国間連系統*1	中国向	昼間帯	120(①)	145(①)	120(①)
		夜間帯	120(①)	145(①)	120(①)
	四国向	昼間帯	120(①)	120(①)	120(①)
		夜間帯	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系統*1	中国向	昼間帯	160(④)	199(④)	174(④)
		夜間帯	146(④)	169(④)	183(④)
	九州向	昼間帯	16(④)	45(④)	16(④)
		夜間帯	31(④)	57(④)	79(④)

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。
*1 休日または特殊日明けの夜間帯のうち0:00～8:00は、休日または特殊日の夜間帯の運用容量とする。

4.2027～2034年度の長期運用容量

12

単位：万kW

連系線	潮流方向	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
北海道本州間連系設備 ¹⁾	北海道向	90(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	東北向	70(③)	100(③)	100(③)	100(③)	100(③)	100(③)	100(③)	100(③)
東北東京間連系線 ²⁾	東北向	236 (①)	631 (①)	631 (①)	631 (①)	631 (①)	631 (①)	631 (①)	631 (①)
	東京向	607 (②)	830 (①)	830 (①)	830 (①)	880 (①)	880 (①)	880 (①)	930 (①)
東京中部間連系設備 ³⁾	東京向	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
	中部向	210(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)	300(①)
中部フェンス ⁴⁾	北陸・関西向	329(①)	310(②)	310(②)	算出条件等検討中 ⁵⁾				
	中部向	326(①)	329(①)	329(①)					
北陸フェンス ⁴⁾	北陸向	308(①)	309(①)	309(①)					
	中部・関西向	460(②)	435(②)	435(②)					
関西フェンス ⁴⁾	関西向	329(①)	310(②)	310(②)					
	中部・北陸向	326(①)	329(①)	329(①)					
関西中国間連系線	関西向	485(③)	485(③)	485(③)	485(③)	485(③)	485(③)	485(③)	485(③)
	中国向	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)	278(①)
関西四国間連系設備	関西向	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)	140(①)
	四国向	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)	0(②)
中国四国間連系線	中国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
	四国向	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)	120(①)
中国九州間連系線	中国向	278(①) 【146(④)】	278(①) 【146(④)】	278(①) 【146(④)】	278(①) 【146(④)】	278(①) 【146(④)】	278(①) 【146(④)】	278(①) 【146(④)】	278(①) 【146(④)】
	九州向	62(④) 【16(④)】	62(④) 【16(④)】	62(④) 【16(④)】	62(④) 【16(④)】	62(④) 【16(④)】	62(④) 【16(④)】	62(④) 【16(④)】	62(④) 【16(④)】

() 内の数字は、運用容量決定要因 (①熱容量等、②同期安定性、③電圧安定性、④周波数維持) を示す。 【 】内の数字は、最大需要時以外で空容量が小さくなると予想される値を示す。

1) 2027年度に北海道本州間連系設備30万kWの増強を予定。

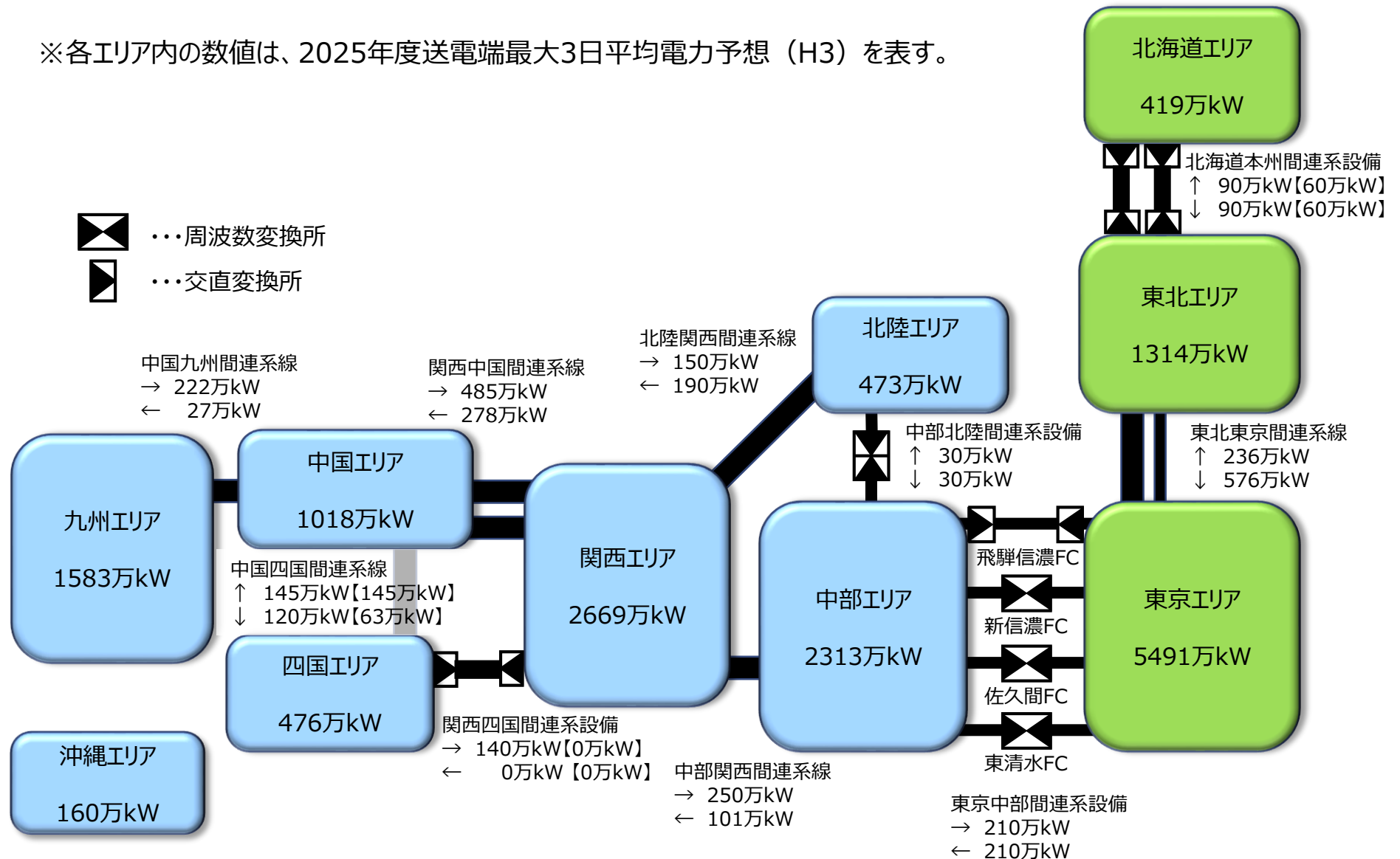
2) 2027年東北東京間第二連系線の増強を予定。

3) 2027年度に東京中部間連系設備90万kWの増強を予定。

4) 2026年度に中地域交流ループ運用開始の予定。中部関西間連系線（関ヶ原北近江線）運開（2030年度予定）以降は、中部フェンス、関西フェンスは600万kW程度（中部関西間連系線に係る広域系統整備計画に基づく）へ拡大の見込み。北陸フェンスの拡大規模は未定。

5) 2030年度に中部関西第二連系線の増強を予定。

※各エリア内の数値は、2025年度送電端最大3日平均電力予想（H3）を表す。



【 】内の数字は、作業時の最小運用容量を示す。